

令和7年度第2回御前崎市総合教育会議・御前崎市牧之原市学校組合総合教育会議
合同会議録

日 時 令和8年1月30日（金）
午前9時00分～10時20分
会 場 御前崎市役所 3階 301会議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協 議
 - (1) 教育大綱と教育振興基本計画の修正案の説明
 - (2) 教育委員からの質疑および協議
 - (3) 今後の計画
- 4 閉 会

出席者名簿（敬称略）

市 長	下 村 勝
教 育 長	吉 村 紳 治 郎
教 育 委 員	竹 田 和 世
〃	島 田 惠 美
〃	松 林 義 樹
〃	馬 湊 香 澄
御前崎市牧之原市 学校組合教育委員	増 田 克 之
〃	佐 藤 孝 弘
副 市 長	山 崎 雅 樹
総 務 部 長	鈴 木 弘 康
健 康 福 祉 部 長	鈴 木 則 子
教 育 部 長	小 野 田 明 人
学 校 教 育 課 長	古 地 隆
社 会 教 育 課 長	小 川 剛
教 育 総 務 課 長	阿 形 元 輝
教 育 総 務 課 係 長	川 村 美 穂
教 育 総 務 課 指 導 主 事	神 谷 昭 吾

1. 開会

【小野田教育部長】

皆さん、おはようございます。定刻となりましたので始めさせていただきます。開会に先立ちまして挨拶を交わしたいと思いますので、恐れ入りますがご起立ください。お互いに礼。

(一同礼)

ご着席ください。

ただいまから、「令和7年度第2回御前崎市総合教育会議」を、御前崎市牧之原市学校組合と合同で開会いたします。この総合教育会議は、市長と教育委員会が教育施策について協議・調整する会議体となっております。次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

初めに市長挨拶。下村市長、よろしくお願い申し上げます。

【下村市長】

皆さん、改めましておはようございます。大変お忙しい中、令和7年度第2回御前崎市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の協議につきましては、前回の第1回会議の中で出てまいりました「教育大綱」そして「教育振興基本計画」、こちらの内容について皆さんのご意見を踏まえ、改定作業が進んでおります。令和8年度スタートの予定でありますので、ご協議のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【小野田教育部長】

続きまして、教育長挨拶。吉村教育長、お願いします。

【吉村教育長】

はい。本日は皆さんよろしくお願い申し上げます。

今年度は新しい教育振興基本計画が策定されるということで、それに向けて新しい教育ビジョンも作成いたしました。その中で新しい4年間のスタートをするということで、ぜひここで協議をしていただいて、新しいスタートを切りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

【小野田教育部長】

ありがとうございます。それでは協議の前に、総合教育会議の意義と今回の目的について、改めて共有させていただきたいと思います。

まず「総合教育会議」ですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置される会議となっております。これは市長と教育委員会が教育施策に関して協議・調整を行う場として法的に位置づけられておりまして、教育行政の透明性と連携を強化することを目的としています。

次に、今回の会議の目的についてご説明いたします。

前回、第1回の総合教育会議において、本市の新しい「教育大綱」と「教育振興基本計画」の提案を行いました。その内容について皆様に深くご協議をいただき、特に本市教育の今後の方向性を定める重要な骨子となる方針について、活発な意見交換が行われました。

その後、計画案に基づき、広く市民の皆様からご意見をいただくためにパブリックコメントを募集いたしました。このプロセスを通じて、市民の教育に対する思いや期待を具体的に把握することに努めております。

本日の会議につきましては、これまでの議論と市民の皆様からの貴重なご意見を踏まえ、教育大綱と教育振興基本計画の改定に向けた最終的な協議の場でございます。この後の協議の中で、パブリックコメントで寄せられたご意見に基づき、計画案にどのような修正が加えられたのかを具体的にご説明いたします。この修正後の案について最終的な協議を行っていただきます。

皆様の専門的な知見と、長年の経験に基づいた忌憚のないご意見をいただいて、よりよい計画を策定することを目的としておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは協議のほうに入らせていただきます。会議の進行は市長にお願いいたします。

2. 協議事項

議題：教育大綱と教育振興基本計画の修正案について

【下村市長（議長）】

はい、それでは協議事項に入らせていただきます。まず本日の議題であります教育大綱と教育振興基本計画の修正案について、事務局から説明をお願いします。

【阿形教育総務課長】

教育総務課長の阿形でございます。よろしくお願いいたします。事務局から教育大綱と教育振興基本計画の修正案について、概要を説明させていただきます。

教育大綱と教育振興基本計画の改定は、9月にご説明したとおりでございますが、改めて一度確認をしたいと思います。

まず、「教育大綱」についての確認です。教育大綱は、市長が教育、学術および文化の振興について総合的なビジョンを描くものです。大綱については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3で、地方公共団体の長が地域の実情に応じて定めるとともに、同条第2項で策定や改定については総合教育会議において協議することが規定されております。それをもって本日の協議をお願いするものでございます。

次に、「教育振興基本計画」についての確認です。教育振興基本計画は、市が定める教育振興の施策に関する基本的な計画となります。計画については、「教育基本法」第17条第2項で、地方公共団体が地域の実情に応じて定めるよう努めることが規定されております。

この大綱と計画の位置づけですが、御前崎市において教育計画の最上位にあたる計画は「御前崎市総合計画」となります。総合計画を受けて教育ビジョンを描くのが「教育大綱」であり、大綱を実現するための計画が「教育振興基本計画」となります。

それでは教育大綱の全体像を振り返ります。

基本理念には「第3次御前崎市総合計画」の教育分野の基本目標を掲げ、「郷土を愛し、世界に通じる人を育む」とします。新しい総合計画の将来都市像を実現できるように、教育分野の「人を育てるプロジェクト」は、主体性を持って挑戦と共創に取り組むことで自立するための教育活動を、基本理念を持って行うこととします。

また、教育ビジョンとして、「Surf your Future ～未来を乗りこなせ～」をタイトルに、大海原に旅し、また回帰してくるアカウミガメをイメージした「TURTLE（タートル）」で6項目を示してございます。

次に教育振興基本計画の全体像です。

教育大綱を実現するための計画として、ベースとなる教育大綱も掲載します。次に、重点施策として、「第3次御前崎市総合計画」の教育分野を計画に取り入れます。重点施策では、教育ビジョンの「TURTLE」の各項目と取り組みとの関係性がわかるように、記号を組み合わせ表示をしてございます。

次に、重点取り組みとして、年度ごとの教育計画を取り入れます。本日は令和8年度の教育計画を掲載しておりますが、この部分については毎年見直しを行って修正をしていくことで、実情に沿った計画にするものでございます。計画期間は4年間です。令和8年度から令和11年度の予定となっております。

続きまして、今回実施いたしましたパブリックコメントの募集結果をご報告します。

実施期間は令和7年12月13日から令和8年1月12日までの1か月間行っております。意見の募集は御前崎市ホームページで行いました。受付方法は意見書様式によるものと、電子申請フォームによるものの2種類を用意して行いました。

期間中に応募いただいた結果ですが、教育大綱案へのご意見が1名から5件、教育振興基本計画案へのご意見が1名から20件でした。いただいたご意見とそれに対する市の考え方は、配付させていただいた資料でご確認をいただきたいと思います。

第1回総合教育会議での皆様からのご協議とパブリックコメントの結果を受けて修正した案が、今回皆様に配付させていただいた教育大綱案と教育振興基本計画案となっております。

それでは前回からの修正点についてご説明いたします。

委員の皆様にも事前にお配りした資料において、黄色で着色されている部分が修正箇所を示しています。

最初に、教育大綱案の修正点について説明します。

1. 大綱の見開き左側の一番上、「基本目標」から「基本理念」に見出しを修正いたしました。あわせて、「基本方針」と見出しをつけていた部分を削除し、一体化としております。
2. 青枠で囲んだ一つ目の枠内、「第3次御前崎市総合計画」のところですが、「基本計画」と表示していたものを「基本構想」に訂正してございます。
3. 基本理念の解説文の下から4行目、文末を「目指します」としておりましたが、これを「基本理念とします」に修正を行っております。また解説文の最後に、「御前崎市・牧之原市学校組合についても同じ大綱を持って取り組むこと」を追記してございます。
4. 見開き右側に移ります。当初は記載していなかった計画期間を追加しております。
5. 教育ビジョンについては、冒頭の「E」から「国際理解教育を通して」を削除し、「T (Team)」の文中から「スクラムスクールプランにより」を削除しております。

続きまして、教育振興基本計画の修正点をご説明します。

1. 1ページ目の「1. 位置づけと改定の経緯」ですが、西暦と和暦が混在していたことから、和暦に表示を統一させていただいております。
2. 大綱の修正に合わせて、「基本目標」を「基本理念」に修正させていただいております。
3. 本文の段落二つ目、下から3行目の中ほど、当初は「総合計画の重点プロジェクト」としておりましたが、「新たな市総合計画の重点プロジェクト」に表記を修正してございます。
4. 本基本計画も大綱と同様に、御前崎市・牧之原市学校組合においても教育振興基本計画とする旨の文章を追加してございます。
5. 2ページとなります。大綱に合わせて、「4. 基本目標」を「4. 基本理念」に修正し、見出し「5. 基本方針」を削除して基本理念と一体化してございます。以降の見出しは番号を一つ繰り上げる形で表示を変えてございます。
6. 青枠で囲んだ1つ目の枠内の「第3次御前崎市総合計画」のところも、大綱と同様に「基本計画」としていたものを「基本構想」に訂正してございます。
7. 基本理念の解説文の文末、当初は「目指します」としておりましたが、これを大綱と揃え

て「基本理念とします」に修正してございます。

8. 4ページからの重要施策に移ります。見出しの下に、教育ビジョンの組み合わせ表について説明を追加させていただきます。
9. 6ページとなります。「(2) 変化の激しい社会を生き抜くための資質・能力の育成」の項目に、総合計画の修正により、「⑤ 海外の学校等とのオンライン交流を推進します」を追加してございます。
10. 8ページにつきましても、総合計画の修正により、「4 地域の歴史や文化を継承し、新しい伝統を創造するまちの実現」に修正し、(2)の項目①のうち「文化財継承」を「文化財保護」に、②の文頭「子どもたちが」を「誰もが」に修正をしてございます。
11. 第1回総合教育会議でご協議いただきましたが、来年度の教育計画を重点取り組みとする案を実行させていただきます。また全体を通して一部用語の解説を掲載してございます。

簡単ではございますが、以上が事務局からのご説明となります。よろしくお願ひいたします。

【下村市長（議長）】

はい、ご説明ありがとうございました。

ただいま大綱と計画の修正案について説明がありました。教育委員の皆様には資料を事前に配付させていただいているということですので、ご質問やご意見をいただきたいと思ひます。教育大綱、教育振興基本計画について、最終版に向けてのご意見やアイデアなどをお聞かせいただければと思ひます。

何かご意見がありましたら、挙手でお願ひします。はい、お願ひします。

【竹田委員】

すみません、この文章についての変更点というのは特に改めて思ひすることはありませぬ。

意見なんですけれども、今日の（大綱の）「E」のところの「エネルギー教育」についてです。

例えば原子力だけじゃないんですけれども、やっぱり今こういう状況の中で思ひるのは、エネルギー教育のことで、うちも猫の額ほどですけど一応地権者で、50年前に親がどんな思ひで土地を手放したかっていうことを思ひると、やっぱり「将来が良くなる」「将来の子どもたちの生活が良くなる」、そこしかなかったと思ひますよね。そう思ひると、50年経った今、こういう状況にあるというのは、何かとても悔しいというか、そんな思ひでいます。

子どもたちに対するそのエネルギー教育というのも、これからどんな形で展開されていくのかなと思ひますけれども、原発の見学とかに行かれて、ちゃんとお金をもらっている方が立

派な説明をされて、それをしっかり受け止める子どもたちが、大人に対する不信感を持ったりしないといいな、人としての善悪がぶれないといいなという、そういう気持ちはすごく強いです。だから今まで以上に、そのエネルギー教育ということを、真摯に受け止めたというか、考えて授業していただかないと、という思いでいます。

全体通して言っちゃっていいんですか。

【下村市長（議長）】

はい、大丈夫です。結構です。

【竹田委員】

あと、2番の(1)の③「療育指導員」ですけども、先日「めばえ（通園施設）」を訪問させていただいたときに、療育指導員の先生の訪問があると聞きました。でも、それが月1回であったり3か月に1回だったり、そんなに頻繁ではないような印象があります。この療育指導員というのは、「めばえ」の先生だけじゃなくて、市独自にもいらっしゃるのか、ちょっと質問したいと思います。

【鈴木健康福祉部長】

はい、お答えいたします。療育の先生方は教育委員会とこども未来課の方におりまして、それぞれ連携をとりながら学校の方にも入っています。

【竹田委員】

わかりました。ありがとうございます。園に伺ったときは「めばえ」の先生がいらっしゃるというのは、私の中でちょっと印象があったものですから。

【鈴木健康福祉部長】

市独自の御前崎市職員としてもおりますし、先ほど言いました学校と園の方にも一緒に入っております。

【竹田委員】

はい、わかりました。

あと6ページの英語教育についてです。市長からも前々からお話があるように、英語力を御前崎市の子どもたちにということで、クルーズ船が入港するということで国際交流をしたいというお話がありました。基本理念の中にも「世界に通じる人」というふうに謳っていますけれ

ども、私も実際に英語力を身につけていけなくちゃいけないと思っています。

その手段として、外国人指導助手（ALT）についてですが、学校訪問に伺ったときに、以前よりも人数が少なくなっているような気がしたんですけど、そんなことはないですかね。

【古地学校教育課長】

はい、配置や人数、回数、そういったものについては全て例年どおりですのでご安心ください。

【竹田委員】

はい、わかりました。

あと、新聞か何かで見たんですけど、福井県がいつも「全国学力・学習状況調査」の結果が上位で、私たちも以前福井県に研修旅行で伺わせていただいたこともあって、私の中ではインパクトの強い県なんですけど、そこでも英語教育に力を入れているということで、ALTの先生を増やしていることと、英検に支援金を出していることを知りました。

やっぱり子どもたちのモチベーションを上げていったりとか、「3級からは内申書に書けるんだよ」ということを子どもたちも知っていて、私も子どもたちに受けさせたりはしているんですけども、学校ではいつからかそれが補助等がなくなってしまったということで、やっぱり手っ取り早く子どもたちがチャレンジできる経験というのをなくさないで欲しかったかなと思います。相良中学でも以前ちょっと前に止めたんですけど、また復活しているというお話も伺いましたので、何かその辺もそんなふうにできるといいかなという思いでおります。

それから、先日、浜岡中学校へ学校訪問に伺ったときに、ほっとルーム（適応指導教室等）の先生と短い間でしたけどもお話を伺ったときに、「この部屋から普通学級に戻る子もいるんですよ」というお話を伺いました。学校と離れて距離を置いて学習するというのも必要だと思って、そこには「サンルーム」という存在があるのはすごいと思うんですけども、そうじゃない子が、学校の中で浜岡中のほっとルームみたいな場所が各小学校にもあって、教室まで足が進まない子がそこで過ごして、そこで過ごしていくうちに学級に戻れるような道筋ができていったらいいな、「小学校ほっとルーム」があるといいなということを思って帰ってまいりました。そんなことを考えました。以上です。

【古地学校教育課長】

ありがとうございます。ほっとルームについては、「しおかぜ先生」という形で市費の教職員を御前崎第一小学校と浜岡中学校に配置をしております。校内に居場所をつくるということは非常に大切なことであり、それ以外の学校については、教室の配置がないものですから、級外であったり、空き時間の先生に代行していただいたりしているところです。

予算措置であったり、なかなか難しい面もありますけれども、各学校にそういった居場所を作るということを、予算で配置する課題はありますけれども、そのような方向で考えていきたいなと思っています。

【吉村教育長】

第一小は「校内サンルーム」という教室があるんですよ。

【竹田委員】

記憶が戻りました。

【下村市長（議長）】

その他、何かご意見ご質問等ありましたらお願いします。

【松林委員】

ありがとうございました。本当に基本理念の「郷土を愛し世界に通じる人を育む」、御前崎市の子どもたち、または御前崎市全体でこれを目指していくということで、素晴らしい目標であると思っています。

それから、先ほど説明の中にあった6ページの(2)の⑤「海外の学校等とのオンライン交流を推進します」、本当に世界と交流というか、そういうのを実践していくんだよ、また通じる子どもたちを育てていいんだよっていうものが繋がってきているなということで、素晴らしい一文だなと思ったんですけど、その中の後ろの7番の重点取り組み、9ページからの中に、その関連したものがどこかに入ってもいいのかなということを感じました。

これは来年度の重点取り組みになっているんですけどね、2年目、3年目、4年目にやるというならまた違うと思うんですが、せっかくこうやって大々的に打ち出したんだったら、1年目から入れてもいいのかなと思ったりしました。

あと重点取組が1番から15番まであるんですけど、来年度全部やらなくてはならないことなんですけれど、その中でも何をイメージして1年目やっていくのかというのは難しいですが、ここには記載しなくても、意識を持って取り組んだ方がいいかなと思いました。以上です。

【吉村教育長】

ありがとうございます。一応ここに予算化された事業がありますので、外国との交流とかについては、明確な道筋ができたところで、事業としてやっていければなというふうに思います。それからもちろん、どの事業も大切なんですけど、その中で特にというのはまだこれから見ながらやっていきたいと思っています。ありがとうございました。自信が持てるものはきちんと

それを打ち出していければと思います。

【増田委員】

まず語句全体の中に注釈が入ったということで、非常に一般の方が見てもわかりやすくなるかなと思いました。我々はどうしてもずっと勤めていてどっぷり浸かっちゃっているんで、これはこういうことだなってわかっているんですけども、一般の方が見た場合、これはどういうことなんだ、という思いを持つ方もいるんじゃないかなと思いました。これが入ったことによってわかりやすくなったなと思いました。

それからさっき出てきた海外との交流ですが、これ私、昔、横地小にいたときにブラジルのクラスがありまして、そのブラジルの方が向こうへ帰るということで、子どもたちが Zoom を使ってその方と交流をやったんですけども、なかなか面白いなど。私なんか歳でそんなこと全然できないのに交流できて、これを日本人の子どもにも広めていきたいなということがあったんですけども、なかなか最終的にはそこまで時間の都合とかでできなくて残念だなと思って終わってしまったんです。

ぜひそういうことをここで広めていっていただきたいなと思います。前に御前崎中学校へ訪問に行かせていただいたときに、1年生がちょうど英語の学習をやってまして、海外に出て行くんだから英語しっかり勉強しておけよ、と話した覚えがあります。ぜひそういうふうに、御前崎市は子どもたちの中にも海外に出て行く人たちがいるので、そういう英語教育なんかも充実を図っていただきたいなと思います。

それと、先ほど出てきましたほっとルームの関係ですが、原発の関係もあのような問題が発生した中で、市としても非常に大変だし、職員も人数に限られた中で非常に大変なことだなと思うんですけども、昔、御前崎町るとき、私が御前崎小学校で教務主任をやっているときは、1つそういう教室を作りました。5、6人来てもらってやっていましたけども、特別にちょっとカリキュラムを私が考えて、学年に合わせて作ってやっていました。特にそのときは加配教員はなかったんですけども、いろんな関係でみんなの空き時間を削りながらやっていました。

そういうこともあって、ぜひやってほしいなど。私が校長をしたときも、数人の不登校と思う子がいて、開きたいなと思ったんですけども、なかなかやっぱり職員の人数の関係で、最終的には私も授業に入ってやっていましたので、職員の人数が足りなくてとても開設までいかなかったんですけども、ぜひ苦しいと思いますけれども、いろいろそういう点で検討していただいて、学校にも居場所を作っていただきたいなと思っています。

当時の保護者とも話したんですけども、やはり「自分の学校だったら行けるかもしれない。でも、こっちのサンルームまで来るのにはちょっといろんな仕事の関係とかがあって、なかなか送り迎えが難しい」という話が当時ありましたので、本当に厳しい中だと思っておりますが、前向きにご検討いただきたいなと思ってます。

【吉村教育長】

ありがとうございます。個に応じた指導というか、学びの多様化とかその辺のことについては、やっぱり本当に市全体の課題として考えていかないといけないと思います。現状でも他の市よりも手厚くやっているつもりなんですけれども、やはりいろいろな関係がありますので、なるべくそれについては現状をさらに手厚くできるようにしていきたいと思います。

【島田委員】

先日、学校訪問で浜岡中学校に行ったときに、県内だけじゃなくて他県からも勉強に浜中を見に来てると聞いたり見たりしました。その方たちも、こういう浜中の取り組みを見たときに「浜中がすごくなったのは御前崎市全体で取り組んでいるこの大綱や基本計画があるからだ」と思ってもらえるように、これは本当にしっかりとしたものを作っていかなきゃいけないなと思います。

私も先ほど、竹田委員が福井県の話をしましたけども、そのときも学校だけじゃなくて市の教育委員会にその話をたくさん聞いたんだなというのを覚えているので、何かそういうのも発信していくというか、周知して取り組んでいるということも伝えていくというのも大事なんじゃないかなと思いました。

それとさっき増田委員もおっしゃいましたが、地域の方にこれを見ていただいたというのは、私もすごくいいことだなと思いました。この取り組みというのを知っていただく。具体的にもなったし、意見があったというのは、黄色の印で載せてもらっているのがほとんどなんでしょうか。その他にもいろんな意見があるのかなってちょっと気になったんですけども。

【下村市長（議長）】

お配りしているタブレットの中にありますか。パブリックコメントの意見と当市の考え方、そこに全部載せております。

【島田委員】

はい、わかりました。

【下村市長（議長）】

ご意見ありがとうございます。馬淵委員お願いします。

【馬淵委員】

私はあまり知識がない中でも、この「TURTLE（タートル）」の頭文字になったのですごくわ

かりやすくよかったと思いました。

私が学校とか訪問させてもらって感じることは、やっぱりその学力もそうなんだけど、それ以前にやっぱり家庭環境というか、家庭が大事だなんていうふうに感じます。なので、いくら学校でいろいろ頑張っても、家庭の親の意識というか、そういうのを上げていかないとなかなか変えるのが難しいのかなって思います。

来年度から変えていくというか、重点取組の中に「家庭教育支援の充実」ってあるんですけど、何か来年度から変えていこうっていうことは書いてあるんですか。今までと変えたことっていうのか。

【下村市長（議長）】

教育目線で今書いているので、「親を指導していく」というコンセプトはないかもしれないですね。だからそれをもしやるのであれば、教育委員会から出ちゃって、多分市長部局とかが主導でやるということはあるのかなと思うんですけど。例えば「タウンミーティング」をやっていますが、人があまり来ないですからね。

【馬淵委員】

そうですね。

【下村市長（議長）】

市としては、平均的な意見を聞きたいという気持ちもあるので、御前崎市の教育に対してディスカッションしましょうというのをタウンミーティングに併設することによって、後半にもつてくるとか、前半後半に分けたりしてやったりすると、来てくれる人もまた変わったりしてもいいかもしれないので、ちょっと参考にさせてください。私も何かそういうことを発信する機会がほしいなとは思っているんですよ、保護者に対して。

【馬淵委員】

私も教育委員になって、御前崎市の教育ってこんなになんかレベルが高いんだなって感じて、学力が低いっていうイメージしかなかったから、もっとこんなすごいんだから保護者に発信していけば、ちょっと親の気持ちも変わるのかなっていうふうに感じました。竹田さんが言われてた英検とか漢検とか、そういうのはぜひ受ける機会が欲しいなと感じているのでお願いしたいです。以上です。

【鈴木健康福祉部長】

よろしいですか。健康福祉部でございますけれども、こども未来課のところは本当にお母さんに初めてなられた方のところとの接点があります。子育てを苦手とするお母さん方もいらっ

しゃるものですから、子どもとの関わり方のペアレントプログラムにご参加いただきまして、「親子のきずな作り」みたいな形を、入口のところでアプローチしていくというような支援をさせていただいております。

【増田委員】

いいですか。家庭教育に関しては、以前「スクラム運営協議会」で、各学校園から代表が出たところでいろいろご意見出ささせていただきまして、そこで私が課長なんかと話して、こういうことを重点的にやっっていこうかということで、その辺を主にしてスタートしました。

スタートした頃はお願いするために手分けして、各学校のPTA総会に出席させてもらいまして、今年は同じ御前崎市教育委員会としてこういうことを家庭の方をお願いして、そしてこちらとしても支援していくというふうなお願いを入れて進めてきました。それが一番最初にあったような「早寝早起き朝ご飯」ということで進めて、それで何回もアンケートをとったり、保護者から問題点をアンケートで拾ったりして進めていきました。それで当時としては、かなり成果があったんじゃないかなと思っております。

ですからまたスクラムスクール運営協議会等で話した内容がいろいろ出てきて、各学校での取り組むPTAとして取り組む内容と、こちらが事務局の方が中心になって取り組むことが、検討されていくんじゃないかなと私は思っています。

【下村市長（議長）】

その他に何かございますか。

【竹田委員】

よろしいですか。「地域人材を生かしたキャリア教育」ということで、浜岡中では「地域担任」というのでされていると思うんです。なかなか今子どもたちが夢を描けないという時代になった中で、その子どもが将来なりたい姿を描けるということで、とてもいい取り組みだと思えますし、早く目標を見つけられる、それに向かってという気持ちになっていけたらいいと思うんですけども。

いろんな職種の方にもっともっと幅広く、大工さんであったり、自動車の整備工であったりとか、もういろんな職種の方と触れ合える機会が持てるといいなって思いました。それから、これは中学校3年生だけですか。

【吉村教育長】

いいえ。

【竹田委員】

中1からなんですね。できるだけそういう機会を多く、いろんな職種の方とという気持ちがあります。

【吉村教育長】

浜岡中は「地域担任」という形でやられていますけど、社会教育課でも「学びの航海図」でやっていて、この間、御前崎中で子どもたちと一般の方が一緒になって話をしたりというのがあったので、何か狙いは似ているんですけど、事業が違ったりするので、その辺でうまく連携が取れたらいいなと考えています。

【竹田委員】

この間、浜岡中1年生に3年生が自分で決めた高校と学部・学科、それを1人ずつが発表してくださった。そういうことに関して、子どもたちはすごく興味深く聞いていたということで、子どもたちはやっぱりそういうことには全然無関心とかじゃなくて、興味持って話が聞けるんだなということを思いましたので、そういう浜岡中の企画というのもありがたいなって思いました。

【下村市長（議長）】

浜中はライオンズクラブが地域担任に入ってくださっていますが、御中は。

【古地学校教育課長】

御前崎中学校もライオンズの方が関わってくださって、3年生に対して進路の面談を行ってくださったりしていますので、何も浜中だけがやっているわけではありません。御前崎中学校もライオンズの方が関わってくださっています。

【下村市長（議長）】

地頭方の方はどうですか。

【古地学校教育課長】

あちらでもお願いしているので、もしかしたら入っているかもしれません。

【松林委員】

1年生は、年3日間ぐらいですか。自分が希望する職種のところへ職業体験で行くのは。

【下村市長（議長）】

それを浜岡中は別にやっているんですよ。御前崎中もやっていて、私も両方参加したことあるんですけど、それとは別に「地域担任」という継続的にやっているプロジェクトがあって、

それが御前崎中はまだやってないんじゃないかなと。

【古地学校教育課長】

御前崎中学校は「地域担任」という形ではないですが。

【下村市長（議長）】

継続的に一人の人に関わっていくようなシステムがあればいいと思うんだけど、それはないですね。

【古地学校教育課長】

違う形で、先ほども言いましたとおり、ライオンズクラブも関わってくださっていますし、面接もありますし、先ほど教育長がおっしゃった「学びの航海図」で、いろんな方を呼んで、職業の魅力などを伝えるということをやってくれていますので。それぞれの学校の特色を持った取り組みというか、そういったものはしてくださっていると思います。

【下村市長（議長）】

すごく私もいいことだなと思っています。良い機会にしていただければ。地域との関わりを強くしていただけた方がいいかなと思います。

どうでしょうか。だいたいよろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。

それではこれで協議の方は一旦終了とさせていただきます。皆様のご意見をもとに最終案を作成するというところで進めてよろしいでしょうか。

（委員承諾）

そのまま進めさせていただくということで、承認されたということでお願いいたします。ありがとうございました。

それでは今後の計画について事務局から説明をお願いします。

3. 今後の予定について

【阿形教育総務課長】

はい、それでは今後の予定についてご案内させていただきたいと思います。

本日の総合教育会議の協議を受けまして、事務局で大綱と計画の案について最終の修正を行いたいと思います。完成した案は、教育委員の皆様にもご確認いただくため、決定とする前に

ご覧いただく機会を設ける予定でございます。

最終案で決定してからですね、大綱と計画を令和8年4月からの実施とさせていただく予定となっております。なお改定につきましては、決定した大綱と計画を議会の方へお知らせするような形となります。

以上、今後の予定についての事務局からのご説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【下村市長】

はい、ありがとうございます。それでは今日の議事そのものはだいたいこれで終了なんですけれども、その他、何か皆様からご意見等ありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(なし)

また気づいたときにおっしゃっていただければと思います。

それでは、以上で本日の会議を終了といたします。進行を事務局へお返しします。

4. 閉会

【小野田教育部長】

ありがとうございます。協議において様々なご意見いただきまして本当にありがとうございます。

それでは以上をもちまして、令和7年度第2回御前崎市総合教育会議を閉会とさせていただきます。

恐れ入りますが最後に互礼をかわしたいと思いますので、ご起立ください。

(一同礼)

ありがとうございました。